

# 表題: 気象学会ジュニアセッション予稿の準備について

著者は実際に研究に参加した生徒のみにすること。

著者所属学校名 氏名(学年) 共著者氏名(学年) 共著者氏名(学年) 共著者氏名(学年)

## はじめに

本ファイルは、気象学会ジュニアセッション予稿集のテンプレートです。ファイルに記述された注意点を確認の上、適宜、上書きしながらご利用下さい。

具体的なフォーマットは次の通りです。(1) 用紙: A-4判縦、余白 全周囲 2cm。(2) 段組: 表題および著者名記入欄は1段、本文欄は2段。(3) 文字: 表題は18ポイント程度(全体のバランスに応じ調節可) MS ゴシック体。著者名は9ポイント以上 MS 明朝体。見出しは9ポイント以上 MS ゴシック体。本文は9ポイント以上 MS 明朝体。(4) ワードプロ・ソフト: 極力「マイクロソフト・ワード」のご利用をお願いします

章立ての基本的な構成は「はじめに」「研究の方法等」「結果・考察など」「おわりに(まとめなど)」です。章の名称は自由に決めて構いませんが、上記の構成に従うと分かりやすい予稿になります。文体は「である」調で構いません。

「はじめに」では、調査・研究・観察などをしようと考えた動機・目的・意義などを簡明に記述します。また、中間報告であれば、その旨を記述するとよいでしょう。一般に、全文の1割程度の文章量とするのが適当です。

## 研究等の方法

どういうところに注目し、どのようにして調査・研究・観察などを行ったか、また、用いた資料、機器等についても記述する。全文の3割程度の文章量とするのが適当です。図表や写真を掲載してもよい。写真は図として扱う。

## 結果・考察など

得られた成果を、よく整理して記述する。また、判明した問題点や要改善事項などがあれば記述する。図表や写真を掲載してもよい。

表には1から番号を付け、題名を上に入れる。数値の単位が分かるようにする。

表1 表のサンプル(温度と飽和水蒸気圧の関係)

気温(°C)	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0
飽和水蒸気圧(hPa)	6.1	8.7	12.3	17.1	23.4	31.7	42.4

図にも1から番号を付け、題名を下に入れる。数値の単位が分かるようにし、縦軸と横軸の説明を入れる。

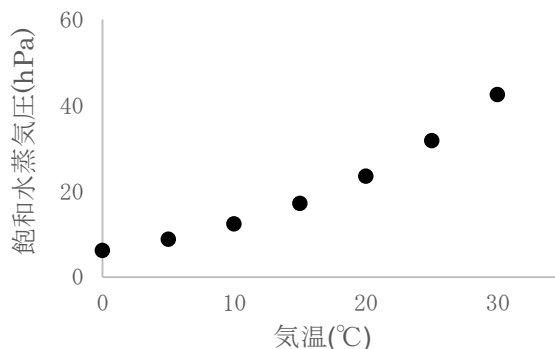


図1 図のサンプル(気温と飽和水蒸気圧の関係)

図表の数値が明確に読み取れるような注意する。

原稿は原則としてそのまま印刷します。図や表のタイトル、図の軸ラベルや数値などの文字、マークなどは見やすい大きさになるようにしてください。特にグラフは、できるだけ大きな文字・太い線・大きなマークを使って描いてください。作成後に縮小して原稿に組み込んだときに、グラフの線やマーク、文字が判別できなくなってしまうようにするためです。グラフで複数の線を区別したい時は実線・破線等で区別します。色で区別しても構いませんが、見分けやすい色を使って下さい。

式も必要に応じて入れ、右端に番号を振る。

$$V = \frac{4}{3}\pi r^3 \quad (1)$$

$$f(x) = a_0 + \sum_{n=1}^{\infty} \left( a_n \cos \frac{n\pi x}{L} + b_n \sin \frac{n\pi x}{L} \right) \quad (2)$$

## おわりに(まとめなど)

総合的な結論、今後の課題や研究姿勢、謝辞などを記述する。全文の1割程度の文章量とするのが適当である。

参考文献があれば、最後に、下に示したように入れて下さい。例は、書籍の場合、論文の場合、Web ページの場合です。

## 謝辞

指導を受けた教員、大学教員、研究機関の연구원等を簡潔に記載する。特別な予算を使っている場合も明確に記入すること。

## 参考文献

著者名、出版年: 書名、出版社、総ページ数。

著者名1、著者名2、出版年: タイトル、雑誌名、巻号(号数)、参照した論文のページ。

著者名(作成者/機関)、Web サイトの更新日付: Web ページのタイトル、Web ページの URL、(参照した年月日)。